

Let's Interview Each Other!

—オーラルコミュニケーションの授業における Warm-up Conversationの取り扱いについて—

帯山 俊一郎

はじめに

ALTとのティームティーチングで行われるオーラルコミュニケーションの授業で、英語を話す活動の導入として、授業の最初にWarm-up Conversationを取り入れることが多いと思う。ALTが生徒に、What did you do last weekend?とかWhat did you eat for breakfast this morning?などと英語で質問し、生徒が英語で答えるのである。時間にしてみれば、5分から10分というところで、授業のメインテーマではなく活動の重要度もそれほど大きくない。私はこのWarm-up Conversationを授業の主要な柱にし、内容を考えハンドアウトを用意し、その日の質問と回答例を生徒に提示した。生徒は色々なトピックに対して問題を考えたり、答えの出し方を学ぶことができた。

1. Warm-up Conversationのテーマ

今年度は以下のテーマを授業で扱い、授業の3分の1から3分の2位の時間をかけた。

1. In the Morning 朝起きてから、家を出るまで
2. Club Activities
3. On My Way Home
4. Golden Week
5. Taking Tests 中間考査を終えて
6. Prefectural High School Sports and Art Festival 高校総体を終えて
7. A Holiday
8. Travel
9. Birthday
10. My favorite Season
11. Watching TV
12. Animals / Pets
13. Cities vs. the Countryside 都会対田舎
14. Grades 学業成績

15. Summer vacation
16. Sports Festival 体育祭を終えて
17. Cultural Festival 文化祭を終えて
18. Watching Movies
19. Choosing a Job
20. Smoking
21. Drinking
22. School Uniform 制服論争
23. Part-time Job
24. Environmental Problems

2. 授業の進め方

授業は教材作りから始まる。まず私が原案を作成し、それをALTに見せ内容や英語表現を議論する。このとき回答に関してALTに彼自身の意見をもらう。彼らの考え方は大変貴重であり、私自身が考えさせられることが多い。

授業ではまず私とALTがその日のテーマに関する議論を英語で行い生徒に披露する。私が日本語で説明をし、生徒に扱う内容をよくわからせる。次に教材プリントを配布する。今度はプリントに従って、私が英語でALTに質問をし英語で答えてもらう。このとき日本語で解説も加える。次にALTが英語で私に質問をし、私が英語で答える。

私とALTとの会話が終了した後、今度は生徒が英語で質問と回答をする番となる。会話を行う前にプリントに載っている英文すべての発音練習を徹底して行う。これを十分しておかないと生徒同士が行う英会話がスムーズに流れなくなってしまう。

生徒同士の会話が終われば、生徒に会話内容を発表してもらう。発表はペアを指名してクラス全員の前で会話をさせたり、ALTが個人を指名して英語で答えさせる等のやり方がある。

3. 授業プリントの内容

以下に資料として実際に授業で使用したプリントを2種類載せる。テーマは「喫煙」(資料1)と「将来住むのに都会がいいか、田舎がいいか」(資料2)である。

<資料1>

Interview Each Other

Theme: Smoking

1. Does someone in your family smoke?

Yes. → Who smokes?

Exs. Both of my parents do.
Only my father (mother / brother / sister) does.
My grandfather and father do.

No. No one smokes in my family.

2. Do you want to smoke when you are twenty?

Yes, _____.

→ Why do you want to smoke?

Because _____

Exs. I can relax when I smoke.
I like the taste(味)/the smell(におい)of tobacco.
I feel like an adult(大人)when I smoke.
I think I'm cool(かっこいい)when I smoke.
All of my friends smoke.
I cannot overcome(打ち勝つ)peer pressure. (同輩集団圧力)

No, _____.

→ Why don't you want to smoke?

Because _____

Exs. I know tobacco is bad for my health.
I don't like the smell / the taste of tobacco.
I'm afraid of getting cancer(癌).
Smoking tobacco is thought to do the same thing as smoking marijuana. 喫煙はマリファナを吸うのと同じ行為だ。

I don't want to become addicted to nicotine. ニコチン中毒になる。
Cigarettes are expensive.
Tobacco smoke is dangerous for other people sitting next to me. 喫煙は隣の人に害を及ぼす。

<資料2>

Interview Each Other

Theme: Cities(都会) vs. the Countryside(田舎)

1. Which do you like better, cities or the countryside?

I like _____ better than _____.

2. Why do you like _____ better?

That's because ____ is / are _____.

In ____ there is / are _____.

In ____ I can (enjoy) _____.

Exs. It's safe / dangerous.
It's convenient.(便利な) / inconvenient.
It's cultural.
It's quiet / noisy.
It's crowded.
There are more cultural facilities(文化施設) like theaters(劇場) and museums(博物館).
I like the suburbs(郊外) which are not far from the center of the city.
The air is cleaner and there are more trees, rivers, and mountains.
There are big parks.
There are big shopping malls(ショッピングセンター).
Life there is relaxing / exciting.
There are much more job opportunities(機会)there.
It is much more fun(楽しみ) there.
I can own(所有する) a house there.
There are more things for young people to do there.
I can choose from a wide variety of stores / shops and restaurants there.

3. If you could live anywhere in the world, where would it be?

(世界のどこにでも住むことができるとしたら、どこがいいか。)

I'd like to live in _____.
(country/state/prefecture/city/town)

以上の2種類の授業プリントを見てわかるように、プリントには質問だけではなく想定される回答が丁寧すぎるくらいに掲載されている。また生徒がつまずくと思われる英単語には日本語訳がつけてある。これにより生徒は質問されても、あわてたり沈黙することなく答えることができる。

4. 授業の問題点とこれからの課題

3の資料を見られた先生方の中には、こんなに多くの回答例を載せたプリントを配ったのでは生徒に問題を考えさせ、英語で発表させる練習にはならないと思われる方がいるかもしれない。確かにそれは一理あることだが、学校に集まってくる生徒の英語学習到達度とか英語を学び英語で発表する意欲も教材作成に大きく影響する。私の勤務校は工業高校ということもあり英語を特に好んで勉強する生徒はあ

まりいないし受験英語も関係がない。英語でいきなり質問されたら、どんな簡単なことであっても、本校の生徒の多くは黙って込んでしまう。それならあらかじめ生徒が言いそうな答えを全部英語で書いておくわけである。

上記のプリントでは、生徒は自分の考えに近い英文を選べば会話が成立する。望むならば生徒が質問や回答の英文を覚えてくれて日常の会話で使用してくれればいいと思っている。生徒の中には、あれだけ回答例を挙げているにもかかわらず、自分自身の意見を言おうとする生徒がいる。たいへん喜ばしいことである。こういう生徒は大いに褒めてやり自分の意見を言うことを奨励したい。

テーマを取り上げる時期においても内容においても考慮し、生徒が話し合いたくなるようなトピックを選び、おもしろい回答例や生徒独自の意見をプリントに載せていきたいと思っている。また徐々にではあるが教師の提示する回答例を減らし、生徒が自ら内容のある英語を話すように授業の改良を重ねていきたい。

(石川県立工業高等学校教諭)

原稿募集について

CHART NETWORKは、各方面で英語教育にたずさわる方々の、英語教育に関する実践や研究などの発表を大きな柱として編集されます。そこで、広く原稿を募集いたします。

1. 原稿は未発表のものに限ります。英語および英語教育に関するオリジナルのものであれば、内容は問いません。

2. 執筆要領

① 1ページは左右23字、天地43行の2段とし、2～4ページにおさめてください(句読点は1字とする)。英文の場合は1ページ550 wordsを目安としてください。

② 特に強調したい箇所(太字にしたい箇所)には、赤色で下線を引いてください。

③ 冒頭には必ずタイトルをお付けください。このタイトルは、10行×2段とってください。

④ ワードプロで原稿を作成された方は、ご使用の機種を明記のうえ、なるべくフロッピーディスクも原稿と一緒にお送り下さい(フロッピーディスクはお返しいたします)。

3. ① 掲載量には限りがございますので、編集部で原稿を選択させていただくことをご了承ください。また、内容の趣旨が変更されない範囲で、原稿の一部を修正させていただく場合があります。

② 掲載させていただきました分につきましては、弊社規定の原稿料をお支払いいたします。

4. 原稿の送り先

〒604-0867 京都市中京区烏丸九太町西入ル 数研出版株式会社 関西本社編集部 CHART NETWORK 係